

我们正年轻！

作者：牛嵩峰 推荐：牛冬梅

750 个小时

31 天

一个月。

一个月，很短，

它是改革开放 30 年历史的七百分之一，

是新中国 59 年历史的一千四百分之一，

是中华民族 5000 年文明史中的沧海一粟。

这一个月，很长。

长到整整一代年轻人长大成人，

长到整整一代人站上了历史的前台！

这一个月里，

一个个 80 后、甚至 90 后的年轻人的名字写进了我们的心底，

他们是遇难者，是救援者，是志愿者……

他叫陈坚，他坚持了 73 小时不言放弃，却在被抬上担架那一刻终止了呼吸；

她叫乐刘会，这个大眼睛女孩在废墟下大声笑着说“活着，我很高兴”；

她叫蒋小娟，她敞开警服，袒露出本应最私密的胸膛，喂养地震遗孤；

他们，是写好了遗书，然后从 5000 米高空纵身跃出，空投到震中的 15 名伞兵；

他们，是冒险挺进灾区、在余震不断的废墟上以命救命十几万普通士兵！

他们，是挽起胳膊，献出热血，一夜之间让全国血库爆满的主力军

他们，是肩膀上扎着黄丝带，胸口印着“我爱中国”，奔波在灾区的活跃身影……

当坚强与悲恸，勇气与力量，青春和担当，一次次震撼着我们的心灵时，就连世界，也为他们喝彩！

美国《新闻周刊》说：“‘80后’在地震中展示了他们对国家和社会事务的关注。”

新加坡《联合早报》说：“地震重塑中国‘80后’形象”。

我们理解境外媒体的诧异：因为80后，曾一度被称为“垮掉的一代；他们，曾一度被称为“我字当头”的一代。

不是有人戏称80后是“草莓一代”吗？不是有人说他们“外面光鲜，里面苍白”吗？

的确，他们大多是独生子女，他们承受着最多的爱，他们是在和平发展的阳光温室中长大，他们个性张扬，他们习惯于在信息的虚拟世界里畅游交友。

但这些，绝不是软弱的代名词，绝不是冷漠的必选项，绝不是远离现实的避风港。

这个26岁的女孩，曾在网络世界里，变换着“酷酷”的发型。

这个80后的女孩，曾在雪山前，曾在游乐场，恣意地展示着青春的魅力和张扬。

这个有着甜美的笑容的女孩，叫袁文婷，是重灾区什邡县民主小学一年级的老师，地震来临时，她把被灾难吓呆的孩子一趟趟抱到教室外面，一连救了13个学生。

她最后救出的孩子哭着说：“袁老师把我放在教室门口，又转身回去救其它同学。我听见‘嘭’的一声，楼板就掉了下来，我只看见了她的双脚和她怀里抱着的同学。”

5.12晚上10点过，搜救人员终于发现一块厚重的水泥板下压着的袁老师的身影，当救援人员艰难的抬走这块水泥板时，眼前的一幕让大家潸然泪下：袁文婷柔弱的身躯下还藏着她的学生，这个美丽的女孩却因为伤重永远闭上了自己的眼睛。

这个26岁的女孩，再也无法在网络世界里，变换“酷酷”的发型。

这个80后的女孩，再也无法恣意地展示着青春的魅力和张扬。

你知不知道，你走之后，千百万的网民把你称作中国最美丽的女教师？

你知不知道，一位网友这样写道：

你的手臂本应挽着男友

卿卿我我在红花绿柳

你的身姿本应妩媚娇柔

舞动中一展青春的歌喉

此时你弯曲成美丽的曲线

为你的学生充当生命的看守

你那无声的姿势

已成为所有人心中的不朽！

你知不知道，你走之后，你用生命，留给學生一道題目，一道需要一辈子才能做完的題目！是什么，让你把孩子，看得比自己的生命更重要？

我一定会这样告诉孩子，望子成龙是天下父母最最朴素的愿望，要一代强过一代，是所有中国人最最质朴的想法；一代强过一代，是一个民族的永保青春的脉动。

到那时，袁文婷老师救出的孩子，生活学习条件，一定会比现在好，就象 80 后的年轻人的生活条件，远比我们好。

但物质的丰富并不意味着精神的缺失。30 年的黄金发展，让袁文婷老师和所有的同龄人一样，在愈来愈幸福、愈来愈满足的进步中度过；但流淌在我们血脉中的民族精神，并没有被物质化的生活模式所泯灭；当灾难来临，它洗去的是整个民族的喧哗表象，磨砺出来的是千年不变的精神底色！

看看这张熟悉的图片吧！

一位 80 后的消防战士，刚刚从废墟中救出一个孩子，当他要返回瓦砾堆中再去救人时，余震发生了！为了保证救援人员的安全，战友们拖着他，不让他去。他跪了下来大哭：大声喊着：“求求你们让我再去救一个！我还能再救一个！”

这一声呐喊，足以击穿所有曾经对 80 后的误解，这一声呐喊，依然激荡着血脉里民族大爱的热血！

这大爱，如山般的厚实，象河一样的悠长，它是中华民族的根脉；灾难中一个个用自己的生命把爱传递给孩子的父母，一个个生死相依的夫妻和恋人，一个个和袁文婷老师一样，把死亡留给自己，用臂膀保护学生的老师……这些，都是答案，这些，都是大爱。

这大爱，是让我们之所以成为我们最重要的理由，这大爱，是中华民族之所以成为中华民族最重要的理由。

“共产党员请站出来！”，所有年轻战士齐刷刷地向前迈进了一步。

“不是独生子女的请站出来！”所有年轻的战士又齐刷刷地向前迈进了一步。

那一刻，指挥员眼睛湿润了：他明明知道，他带的这些新兵，有很多，才刚刚在火线上递交了入党申请书；他明明知道，他带的这些新兵，大多，都是家里的独苗；这些 18、9 岁的新兵，明明知道前方是一次以命换命的生死救援！

这就是我们的 80 后，他们今天的名字，不是冷漠，是担当！不是叛逆，是勇敢！不是小我、是大爱！

这大爱的背景，是一只军队，作为国之利器，对生命至高无上尊严的体认！

这大爱的底色，是一个国家，“以人为本”理念的最耀眼的光芒！

这是一次百年不遇的地震，

这是一代少年千年不遇的成人礼，

这是一个民族一代强过一代的生生不息！

中国正少年，

我们正年轻！

在刚刚复课的北川中学，面对孩子，温家宝总理在黑板上“多难兴邦”四个字，他鼓励孩子们，要“昂起倔强的头颅，挺起不屈的脊梁，向前、向光明的未来前进！”他满怀深情地说：有了孩子们，教育在继续，民族就有希望。

在北川中学的野战医疗所，胡锦涛总书记满含真情地俯下身子，亲着 3 岁半的罗梦夕，轻轻地说。“以后爷爷再来看你。”

僕たちの青春

Author: Songfeng Niu

Translator: Shengqian Liu

750時間

31日

1ヶ月

1ヶ月、短い間

それは中国改革開放30年歴史の一瞬に過ぎない

中国建国59年歴史の一瞬に過ぎない

中華民族5000年歴史の一瞬に過ぎない

この1ヶ月、長かった

一世代の若者が成人するほど長かった

一世代の人が歴史の裏から表舞台に上がるほど長かった

この1ヶ月に

80年代そして90年代生まれの人達の名前が私たちの心の底に記された

彼らは犠牲者、救援者、ボランティア・・・

彼は陳堅と言う名で、73時間も諦められ無かったが、担架で運ばれた瞬間に息を引き取った

彼女は樂劉会と言う名で、大きな目の女の子は廢墟の中で「生きている、うれしい」と笑いながら話していた

彼女は蔣小娟と言う名で、思わず警官の制服を開いて、赤ちゃんに母乳をあげた

彼らは、遺書を残し、5000メートル上空から震源地に投下された15名の落下傘部隊だ

彼らは、危険を冒して被災地に入り、余震が続く廢墟の中で人を救った十数万の兵士だ

彼らは、袖を捲って腕を出し、献血に行き、一晩で全国の血液庫をいっぱいにした主役だ

彼らは、肩に黄色いたすきをかけ、胸に「中国を愛す」と記し、被災地で奔走した

強靭さと悲しみ、勇気と力、そして青春と責任感、私たちの心は揺り動かされ、世界中からの喝采を浴びた

アメリカの<ニューズウィーク>は言った。「80年代以降生まれの者達は地震の中、国と社会のことに対するの関心を示した」

シンガポールの<聯合早報>は言った。「地震は中国の80年代以降生まれの者達のイメージを変えた」

これらの外国メディアの驚きは理解できる。80年代以降生まれの人達は不器用な世代、自己中心的な世代と称されていたから

80年代以降生まれの人達は「イチゴの世代」と称されたのでは？「外見は良いが、中身なし」といわれたこともあったのでは？

確かに、彼らの大多数は1人子、最も愛を受け、平和な社会でぬくぬくと成長し、個性を主張し、バーチャルな情報世界に慣れ親しんでいる。

だけど、これらは軟弱の代名詞にならない、冷ややかな表情をする理由にならない、現実逃避の口実にもならない。

この26歳の女の子は、かつてネットの世界では、日々「クール」な髪型に変えていた

この80年後生まれの女の子は、かつて雪山で、かつて遊園地で自由に青春の魅力を放っていた。

この可愛い笑顔を持つ女の子は、袁文婷と言い、被害の最も大きかった什邡県民主小学校の先生だった。地震時、怖くて動けなくなった学生を一人一人抱えて外へ連れ出した。全部で13人の学生が救われた。

最後に救われた子供は泣き声で「先生が私を教室の入口に置いて、他のクラスメートを救うために再び教室に入った。そのとき『ドン』という大きな音がして、天井が落ちてきた。先生の両足と先生がクラスメートを抱きかかえているのしか見えなかった。」と言った。

5月12日夜10時過ぎ、捜索員はやっと厚いコンクリートの下に袁文婷先生の姿を発見した。コンクリートを移動させ、目の前に現れた光景に皆は思わず涙を流した。袁文婷は弱弱しい体の下に学生を庇っていた。だが、この美しい女の子は重い怪我で永遠に目を開けることは無かった。

この26歳の女の子は、再びネットの世界で「クール」な髪型に変えることが出来なくなった。

この80年代後生まれの女の子は、再び自由に青春の魅力を放つことは出来なくなった。

貴女は知らないでしょう、貴女の死後、ネットでは貴女を中国最も美しい女教師と呼んでいるのを。

貴女は知らないでしょう、ある人はこのように書いている

彼氏と手をつないで

愛し合っていたはずだった

貴女の姿はあでやかでなまめかしく優しい

踊りながら青春を歌ってるはずだった

だが、このとき、貴女は体を美しく湾曲させ

学生の命を見守っていた

貴女のその無言の姿は

皆の心の中で朽ちることがない

貴女は知らないでしょう、貴女の死後、貴女の命で、学生たちに宿題を残したことを、一生をかけなければ完成できない宿題を。貴女は自分の命よりも子供たちの方が重要だったのはなぜだろう。

子供たちに「親として誰もが子供の出世を願っている。先代より強くなれ、これは中国人のごく普通の考えである。先代より強くなることは、民族の若々しさを保つための原動力である」

そのとき、袁文婷先生に救われた子供は生活や学校の環境はきっと現在より良くなって、80年代後生まれの人達は私たちより良い生活を送っているように。

しかし、物質の発達には精神を失うのではない。30年の改革開放のお陰で、袁文婷先生そして先生と同じ年齢の人達はより幸せ、より満足な生活が出来るようになった。だが、私たちの体の中流れている血の中の民族精神は物質化的な生活に消滅されず、災難が来たとき、民族の騒がしい一面は洗い流され、千年変わらず強い精神の一面が磨かれるのだ。

このよく知られた写真を見てみよう。

80年代後生まれの消防団員は、廃墟の中から1人の子供を救出し、再び瓦礫の中に救出に戻ろうとしたとき、余震が発生した。救援人員の安全のため、他の警官に引き止められた。彼は跪いて、「お願いだからもう一回行かせてくれ。もう1人を助けられる。」と叫んだ。

この叫びは、全て80年代後生まれに対しての誤解を解き、民族を愛する熱血が込められている。

この民族を愛する気持ちは、山のように分厚く、河のように長い、中華民族の根本である。災難中、自分の命で愛を子供に伝えた親たち、生死を共にする夫妻、恋人たち、袁文婷先生と同じように命をかけて、学生たちを守った先生たち・・・これら全ては答えである、全ては民族を愛する熱血である。

この 民族を愛する熱血は私たちは私たちである最も重要な理由である、この 民族を愛する熱血は中華民族が中華民族である最も重要な理由である。

「共産党員は前に出て」、すべての若い戦士は一斉に一步前に進んだ。

「1人子じゃない人は前に出て」、すべての若い戦士はさらに一斉に一步前に進んだ。

その一瞬、指導員の目は涙にぬれた。目の前の新入戦士の多くはここに来る前に入党申請書を提出したばかりであることを知っているからだ。目の前の新入戦士の多くは1人子であることは知っていたからだ。これら18、19歳の新入戦士はこれから行う任務は命をかけるものであることは知っているはずだ。

彼らは80年代後生まれだった、今日の彼らは、冷淡でなく、責任感があり、反逆者でなく、勇敢であり、自我ばかりでなく、民族を愛する熱血が流れている。

この民族を愛する熱血の背景は、この国の軍隊の、命に対するの尊敬の証であった。

この民族を愛する熱血の根本は、政権党の「人が基本である」との理念であった。

今回は百年に一度の大地震だった

これはこの世代の少年が今後千年は遇わない成人式だった、

これはこの民族が先代よりも強く生き続けられる証だった、

中国はまさに少年である、

僕たちはまさに若いのだ。

再開したばかりの北川中学校で、子供たちの前で温家宝総理は「多難興邦」と黒板に書いた。「頭を上げて、背筋を伸ばし、前を向いて、明るい未来に進もう」と励ました。「子供たちがいれば、教育が続く、民族の未来がある」と語った。

北川の野戦医療所で、胡锦涛総書記は身を屈めて3歳半の罗梦夕に頬を寄せ、「今後もおじちゃんは今君にあいに来よう」と語った。